



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その115

京都の高松伸設計の作品です。左は「湖睦電機」1978年、右は歯科医院の「ファラオ」1984年の竣工です。双方とも40年以上前の作品なのですがオーナーに大切にされているようで、しっかりとメンテナンスされ、今でも力強く屹立しています。



CURRENTLY WORKS



パーソナルカラー彩花 その3…個性を持たせつつ多機能に対応するカウンセリングゾーンには、4分割してスクールに対応できる、大きなテーブルを置いています。正面のガラス面側は、パーソナルカラー診断を行うブースとして、三角形の下り天井があり、メイクゾーンと同様に個の空間を感じてもらえるよう意図しました。ここに置かれたミラーは座ったお客様と診断者の視線が合いやすいように、角度をつけています。

PRIVATE TOPICS



関山の「興味津々」 その1 建築家が車をデザインする？

建築家が車のデザインに携わった例として「黒川紀章・カローラⅡKJ」「伊東豊雄・トヨタi-unit」などがあります。コンセプトや内装提案も含めると、丹下健三や安藤忠雄も関わっていました。今、超売れっ子の隈研吾は、写真の「トヨタ・コンセプトカーLQ」をデザインしています。彼は、「ロールスロイス・ドーン」のデザインもしています。これ欲しい…

EDITORIAL NOTE

2月～3月に吹く強い南風を「春一番」と言います。春の訪れを知らせるイメージですが、この語源は江戸末期、長崎県壱岐島沖で、強風で7艘の漁船が転覆し53人が犠牲になり、地元の漁師がこの風を「春一番」と呼んで警戒した事からだそうです。その後、気象庁が定義し、一般にも広まりました。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島